

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査書

都道府県名	鳥取県	事業実施主体	鳥取県、日南町	地域再生計画名	日南の豊かな森林の恵みを活かしたまちづくり計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	鳥取県西部総合事務所日野振興センター日野振興局農林業振興課長、日南町建設課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	森林施業面積の増加	200ha	H25	210ha	H29	293ha	220ha	H31	○	中間目標値210haに対して、約140%増の293haの実績（H25～H29）となった。森林施業別実績は、間伐264haと全体の9割を占め、その他の施業は除伐15ha、枝打14haの実績であった。今後も間伐を中心とした施業の計画を見込んでおり、最終目標値の220ha（H27～H31）は達成できる見込みである。
	指標 2	森林区域から林業施設へのアクセス時間の短縮	40分	H25	40分	H29	40分	30分	H31	○	アクセス時間の短縮については、町道、林道とも現在整備中であり、整備完了後に目標は達成される見込みである。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度（H29）	最終実績見込み						
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）		0.40 km	0.15 km	0.40 km	整備延長0.40kmの計画に対して実績は0.15kmと約40%の進捗であるが、計画残延長0.25kmを計画どおり実施することで指標2の目標が達成される見込みであり、引き続き事業実施を行いたい。					
	林道整備事業（整備延長）		2.83 km	1.97 km	2.83 km	整備延長2.83kmの計画に対して実績は1.97kmと約70%の進捗であり、計画どおりの整備量の実施を見込んでおり、引き続き事業実施を行いたい。					
その他の事業	農山漁村地域整備交付金事業		森林基幹道窓山線新屋工区の整備を実施			農山漁村地域整備交付金事業は、本計画期間（H27～31）に1,750mの林道整備を計画しており、現在980mが完成し、残延長770mも計画期間内の完成に向けて事業実施中である。					
	造林事業		森林の整備に要する経費に支援			H27～H29の造林事業の施業実績は、206haと指標1「森林施業面積の増加」の目標を達成するためには必要不可欠な施策であり、引き続き本事業の支援を活用し町有林、分収造林地等の森林整備を図っていきたい。					
	間伐材搬出等事業		間伐材を市場等へ出荷・販売する経費に支援			上記の造林実績206haのうち間伐面積は193haと94%を占め、概ね本事業による搬出経費の支援を得ており、引き続き事業の支援を活用して森林整備を推進し、間伐材を町内の林業施設へ搬出し素材生産量の増加を図っていきたい。					
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	鳥取県森林審議会において、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を実施										
⑤中間評価の公表方法	鳥取県及び日南町建設課のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に実施し、森林区域と林業施設間のアクセスを改善することで、本区域内の豊富な森林資源を計画的に管理することが容易となり、伐採から搬出までの経費の軽減が図られるとともに林業の労働力不足を補う機械化を導入することで施業の効率化が期待される。本区域の森林整備により生産された木材は町内の林業施設へ搬出されており、安定的に供給することで、素材生産量の増加が見込まれ森林整備の効果が概ね発現できると考えている。										
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進んでおり、森林施業面積の増加等の目標も概ね達成が見込まれる。このため、引き続き本地域再生計画に沿って事業を実施していくとともに、造林事業の支援を引き続き活用し適正な森林管理を行い、豊かな森林資源が持続的に有効活用され地域の活性化のモデルとなるように事業を推進していきたい。										